

# 飯伊 産業経済動向

No.456 2017/3  
(29. 4. 25 発行)



IIDA SHINKIN BANK  
飯田信用金庫  
経営相談所

http:// www. iidashinkin. co. jp  
〒395-0044 飯田市本町1-2  
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

## 飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	4,109 枚	10.7 %	△ 3.2 %
	金額	5,024,211 千円	△ 4.0 %	2.5 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 8 枚)
	金額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 3,148 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	8 件	(前月 4 件)	(前年同月 10 件)
	飯伊	2 件	(前月 1 件)	(前年同月 1 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(2月)		42 戸	△ 25.0 %	△ 2.3 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(2月)		1.48 倍	(前月 1.51 倍)	(前年同月 1.39 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	4,018 台	64.6 %	1.3 %
	中古車	884 台	63.1 %	△ 4.1 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(2月)	新車	4,271 台	20.1 %	△ 9.0 %
	中古車	740 台	26.3 %	△ 2.6 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	117,047 台	22.6 %	△ 0.2 %
	出	118,023 台	22.6 %	△ 0.9 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	76,117 台	21.3 %	2.1 %
	出	73,854 台	21.0 %	2.3 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	13,421 台	7.2 %	△ 8.7 %
	出	14,132 台	10.0 %	△ 7.9 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	40,221 台	23.3 %	△ 2.4 %
	出	40,340 台	26.2 %	△ 0.5 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		266 件	67.3 %	△ 4.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		18 件	(前月 15 件)	(前年同月 13 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	29,945 人	33.4 %	△ 1.2 %
	飯田～名古屋	19,682 人	18.5 %	3.9 %
	飯田～長野	10,190 人	18.1 %	△ 2.5 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,733 人	17.4 %	△ 4.4 %
	右回り	3,774 人	18.0 %	△ 3.6 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当相談所が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ  
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を  
使用しています

# 概況

## 製造業

3月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス37.9で、前月から3.5ポイント上昇。翌月予測はプラス21.4で、前月から5.9ポイント下降している。

電気、精密機械器具の販売の前月比は、やや減少～横ばい。前年比は増加の様子。半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売は、前月比、前年比ともやや増加～増加。景況感も好転している。産業機器や医療機器等部品の受注の前月比は、一部に横ばいとの声もあるが、やや増加～増加との声が多くを占める。「同業も良いようだ」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者が多い。建築用金属製品の売上は、「年度末の関係」もあって前月比増加。景況感も好転しているが、前年比はやや減少との声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。一部に景況感が悪化した業者も見られた。小型電磁機器の生産は、前月比概ね横ばい。一部に前年比はやや減少との声も聞かれたが、景況感に動きは見られない。FA関連モーターでは、受注は「産業機械向け、車載向けともに微増で推移」しており、景況感も好転との声。光学機器の受注、販売は、前月比、前年比とも増加、「ここ数年の傾向と大きく違い、受注が急増している」など景況感も好転との声が寄せられた。電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声。

## 地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、業者により増減分かれる。「1～3月の受注は好調。ゴールデンウィーク前で売上の増加を見込んでいる」などの声の一方、「前年比落ち込みを想定している」など景況感が悪化した業者も見られた。水引製品の生産は、前月比横ばい～やや増加。先行きの増加が見込まれているが、「縁起物関係は年末までの注文がほぼ出揃った。昨年並みになりそう」という。漬物の販売は、前月比増加も、前年比やや減少、「例年より気温が低いと感じられ、野菜の価格も高かったが、製品の動きは鈍く感じた」との声。

## 建設業

3月の建設業の景況DIは、マイナス13.3で、前月から7.0ポイント下降。翌月予測DIも、マイナス6.3で、前月より12.6ポイント下降している。

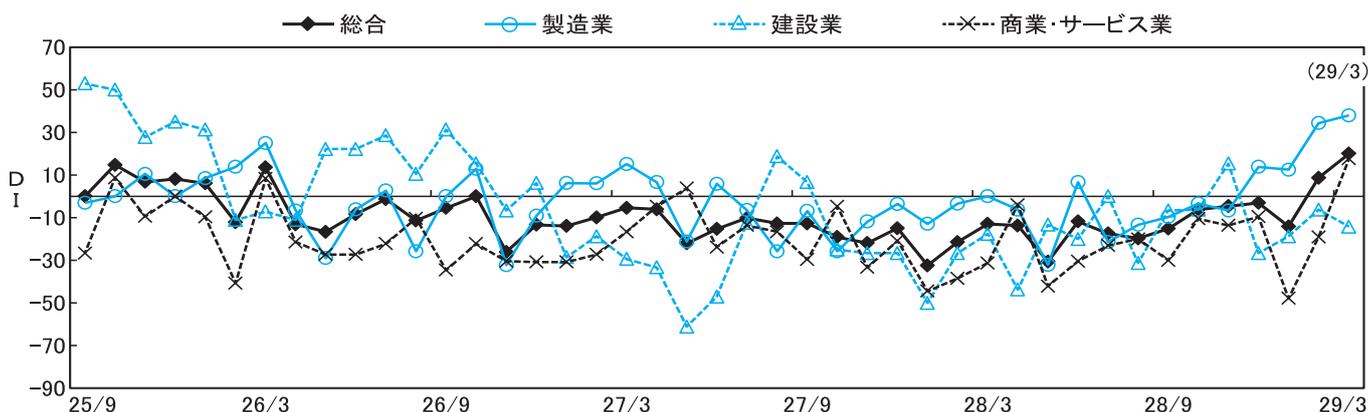
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約25.8億円で、前月比は317%増加、前年比も238%増加している(4月15日調査時点。電設工事、他地域業者落札分などを含む)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや増加との声も複数あるが、「1月以降の受注が少ない。未成工事量は各社ともに少ないようだ」などやや減少～横ばいとの声が多い。

民需の住宅着工戸数(2月)は42戸。前月比25%減少、前年比も2%減少している。当月の調査先業者の受注残高の前月比は、一部にやや減少との声も聞かれたが、概ね横ばい。

## 商業・サービス業

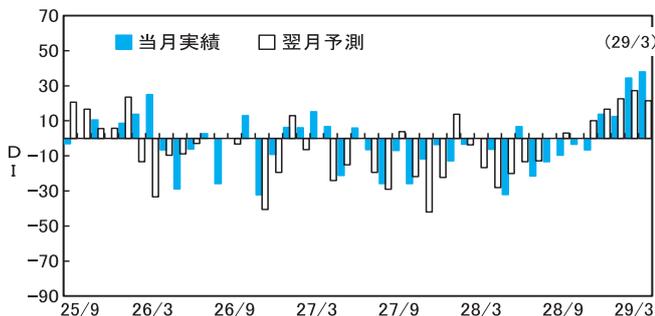
3月の商業・サービス業の景況DIは、プラス17.6と、前月より36.6ポイント上昇。翌月予測DIも、プラス5.6で、前月より10.4ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、やや増加との声が多く、一部に景況感が好転した業者も見られた。前年比はやや減少との声も。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加。家事用品卸の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声。家電の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。衣料品の売上は、前月比、前年比ともやや増加も、景況感の好転には至らないとの声。娯楽用品では、「春休み商戦の中、重点新製品の発売もあり、前月比、前年比ともにやや増加」との声が聞かれた。土産物関連の売上は、前月比やや増加。一部に景況感が好転した業者も見られた。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比65%増加、前年比も1%増加。2月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比20%増加も、前年比は9%減少。自動車販売、整備の売上は、「3月は一年のピークの月。新車は前年とほぼ同数だったが、中古車が伸びた。整備も良く、昨年より良かった」など前月比、前年比とも増加、景況感も好転との声が寄せられた。市内料理店の売上の前年比は、やや減少～概ね横ばい。市内ホテル、旅館の売上は、前年比減少との声。雇用面で不足感があるという。昼神温泉の売上は、前月比増加、景況感も好転との声も聞かれた。タクシーの売上は、前月比増加も、前年比やや減少との声。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



## 地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月実績	37.9	(前月 34.4)
翌月予測	21.4	(前月 27.3)

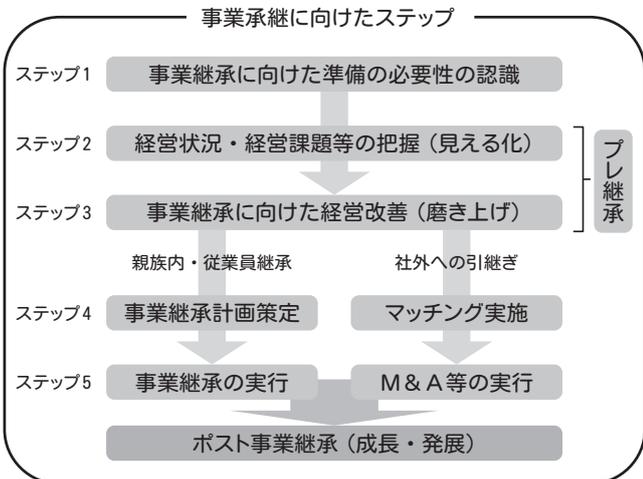
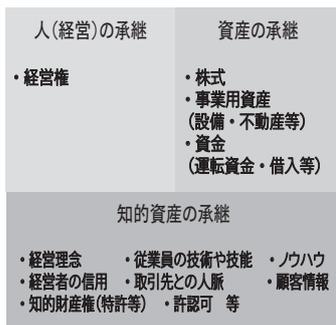
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス37.9で、前月から3.5ポイント上昇。翌月予測はプラス21.4で、前月から5.9ポイント下降している。

昨年12月、中小企業庁が「事業承継ガイドライン」を策定した。

この中では、「事業承継後に後継者が安定した経営を行うためには、現経営者が培ってきたあらゆる経営資源を後継者に承継する必要がある」としており、この経営資源は『人（経営）』、『資産』、『知的資産』の3要素に大別される」としている。

これらの経営資源を円滑に承継するには様々なパターンがあるだろうが、ガイドラインの中では「まずは事業承継に向けた準備の必要性・重要性をしっかりと認識して」準備に着手し、「経営状況や経営課題等を把握し、これを踏まえて事業承継に向けた経営改善に取り組んで事業承継に向けた中小企業の足腰を固め」、「その後、親族内、従業員承継の場合には、後継者と共に事業計画や資産の移転計画を含む事業承継計画を策定し、事業承継の実行に至る」としている。

### 事業承継の構成要素



親族内、従業員に事業を承継する場合、「会社の10年

後を見据え、いつ、どのように、何を、誰に承継するのかについて具体的な計画を立案」するが、業務を継続しながら行う事柄も多い反面、「事業の円滑な運営や業績が経営者個人に集中していることの多い中小企業」で、「後継者候補を選定し、経営に必要な能力を身につけさせ、知的資産を含めて受け継いでいくには十分な準備期間が必要」としている。

紙幅の都合上多くに触れられないが、詳細は中小企業庁「事業承継ガイドライン」「事業承継ガイドライン20問20答」などをご参考いただくとともに、本誌で「地域経済にも影響する事業承継！」を執筆した当金庫アドバイザーなどにご相談ください。

## 機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売の前月比は、やや減少～横ばい。前年比は増加の様子。景況感が好転した業者は見られないまでも、「多少の増減はあるが好調」「半導体関連は長期に仕事が維持できそう」などの声が寄せられた。先行きは、大きな動きは見込まれていないとの声のほか、「今月まで多かった分、4月は減少しそう」との声も。原材料、資材価格について「4月以降値上がり確実」などの声。一方、製品価格に大きな動きは見込まれていないという。雇用面で、「不足」「人員不足で求人もしている。派遣もお願いして補っていく」など不足感を指摘する声は多い。設備面では概ね現状維持の様子。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売は、前月比、前年比ともやや増加～増加。「スマホ関連、車載関連、装置向け増産継続」「メモリ向け装置増産継続」「FPD向け装置良好」「IoT、有機EL関係で急増」「計画増が生産能力以上で在庫に至らない」など景況感も好転している。「半導体製造装置は、少なくとも上期までは活況を呈しそう」など先行きも上向きとの声が多い。こうした中、雇用面では、「現状不足。先行きも不足感は増しそう」などの声が聞かれ、「補充。今後も予定」「新卒、中途共に複数名入社。技術経験者募集継続」など人員の増強を図っている様子。設備面でも「更新、新設が必要」「実施済み。今後も予定」「導入。増設、機械導入を検討」など積極的な声が多い。「アルミ、ステンレスともに上昇基調」「材料全般値上がり」など原材料、資材価格は上昇している。一方、製品単価は、下降ないしは目下横ばいも「コストダウン要請は続いている」などの声が聞かれた。

産業機器や医療機器等部品の受注の前月比は、一部に横ばいとの声もあるが、やや増加～増加との声が多くを占める。「ロボット関連、半導体関連が忙しい」「受注残がこれだけあるのは初めて」「産業機器関連は好調」「ロボット向け増産依頼が続く」「ロットが大きくなった」「短納期の引合が多い。顧客の信頼性向上と短納期対応に注力していく」「在庫は殆どない」「やや上昇の気配が感じられる」「各社忙しいようだ」「同業も良いようだ」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者が多い。

「アルミインゴット上昇気味」「アルミ原材料単価上昇」など原材料、資材価格がやや上昇との声は多い。製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では、「増員。今後は現状維持」「臨時社員中心の増員」「加工要員の補充を検討中」「複数名採用。新卒者数名予定」などの声。設備面では、現状維持との声が多いが、「複数台入荷。今後も予定」「増設」などの声も。

建築用金属製品の売上は、「年度末の影響」で前月

比増加。前年比も増加しており、景況感も好転との声が寄せられた。しかし、「例年、年度初めは良くない。また、依然発注が遅れている」といった影響で受注残高が減少しており、先行きは弱含みとの声。原材料、資材価格に関し、「まだまだ上昇傾向」との報。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

**自動車向け部品の販売**は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。一部に景況感が悪化した業者も見られた。「輸送業者が各社値上げ傾向にあり、材料費等も値上げが予想される」との声。雇用面で「依然人手不足。ハローワーク、派遣会社とも人材がおらず、紹介件数は少ない」という。

**小型電磁機器**の生産は、前月比概ね横ばい。一部に前年比はやや減少との声も聞かれたが。景況感に動きは見られない。先行きに大きな動きは見込まれていない様子。原材料、資材価格が上昇基調との声が多い。一方、製品価格については一部に若干の上昇を見込む声も。雇用面では現状維持の様子。設備面で一部に積極的な声が聞かれた。

**FA関連モーター**では、受注は「産業機械向け、車載向けともに微増で推移」しており、景況感も好転との声が寄せられた。先行きもこうした基調が続く見込みという。

**光学機器**の受注、販売は、前月比、前年比とも増加、「ここ数年の傾向と大きく違い、受注が急増している」など景況感も好転との声が寄せられた。先行きも生産の増加を見込んでいるという。原材料、資材価格がやや上昇しており、今後こうした傾向が続く見込みという。雇用面で「派遣もなかなか紹介してもらえない。募集を予定」との声。設備面でも先行き積極的な声がある。

**電気、電子製品**では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声が寄せられた。雇用面で「相変わらず開発人員が不足。派遣を含めて探してはいるが高額すぎて依頼できない」との声が寄せられた。

## 地場産業

**半生菓子、菓子原料等**の売上の前月比は業者により増減分かれる。「1～3月の受注は好調。ゴールデンウィーク前で売上の増加を見込んでいる」「新規導入製品があり前年比プラス。もっとも既存品は良いとは言えない」「前年比落ち込みを想定している」「半生全般に、昨年9月頃から低調と言われている」などの声が聞かれ、一部に景況感が悪化した業者も見られた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面で、一部に「人手不足」との声が聞かれたほか、「賃金の値上げを予定している」などの声も。設備面で「実施中」「計画あり」などの声が聞かれた。

**水引製品**の生産は、前月比横ばい～やや増加。先行きの増加が見込まれているが、「縁起物関係は年末までの注文がほぼ出揃った。昨年並みになりそう」という。「世の趨勢で儀式用品は、少量ながら出荷されているものの、残念ながら拡大は難しい。しかし、正月飾りを始め他の飾り物として発掘の余地は大きい。互いに切磋琢磨して製品開発に励めば望みはあると思う」「学校、官公庁から水引工芸体験、ワークショップの依頼があるが、対応に頭を悩ませることが多くなってきた。何らかの受け皿や仕組みづくりが必要となるのではないか」などの声が寄せられた。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。一部に設備面で積極的な声。

**漬物**の販売は、前月比増加も、前年比やや減少、「例年より気温が低いと感じられ、野菜の価格も高かったが、製品の動きは鈍く感じた」との声が寄せられた。

雇用面で「今後の人員構成を考えた募集をしているが、なかなか採用に結びつかない」との声が寄せられた。

## その他製造業

**食品関連包材**の生産は、前月比やや増加との声が寄せられた。原材料、資材価格に当月大きな動きはなかったものの、先行きは上昇が見込まれるとの声。

**印刷、出版関連**の売上は、前月比、前年比とも増加、「昨年は飯田お練りまつりがあってまずまずの売上ただけに、今年は落ち込みを心配していた。しかし、飯田市議会議員選挙や年度末の大物や冊子が集中し、大変多忙だった」との声が寄せられた。「新年度の契約品では安値競争が止まらない。適正価格に近づかなければ、人件費を抑えていくしかなくなる」という。雇用面で「継続して求人中。同業も応募が少ないとの声を聞く」との声。仕入に関し「紙の値上がりが不安」との声が聞かれた。

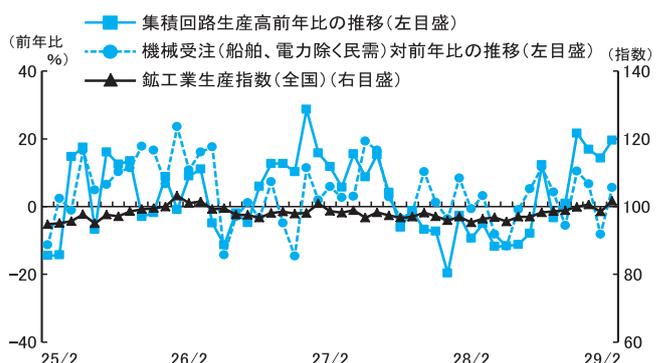
**衣料品**の販売は、前月比、前年比ともにやや増加も、「例年年度末の駆け込み需要に追われる時期だが、百貨店を含め売上が悪く、駆け込みも少ない。また、寒さが抜けきらず春物の動きも悪い」など景況感の好転には至っていない。「シャツ関係は好調。カットソーも例年同様良い。布帛製品がなかなか動かず、スプリングコートが特に悪い。昨年、一昨年の半分以下ではないか」などの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。人員不足が依然続いており、「新卒含め対応を考えていく」という。

**住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具**の生産は、前月比、前年比ともやや減少も、「概ね計画通りの推移。(受注増加は)短期集中との見方が強かったが、ここきて、安定受注とは言わないまでも多少なりとも続くのではとの見方も出てきた」など景況感の悪化には至っていない。もっとも「コスト的には厳しく、また一層の短納期化が求められている」といい、「リーマン以後中小零細企業は生き残りをかけてスリム化を図ってきたためこうした状況変化への対応が難しく、折角のチャンスを活かしきれないことも」との声も。設備面で積極的な声が聞かれた。

### 【企業からのコメント】

- ★設備更新せずに何とかやってきたが、修繕費の増加と共に修繕自体も限界に近づいてきた。経営力向上などを利用して更新していきたい。
- ★現状は休日出勤や残業で何とかしのいでいる。4月の新規学卒者を待っている。
- ★難加工の問合せ、依頼が増加。当社は技術で生きるのみ。
- ★米国の政権交代に加えて英国のEU離脱の影響を注視している。

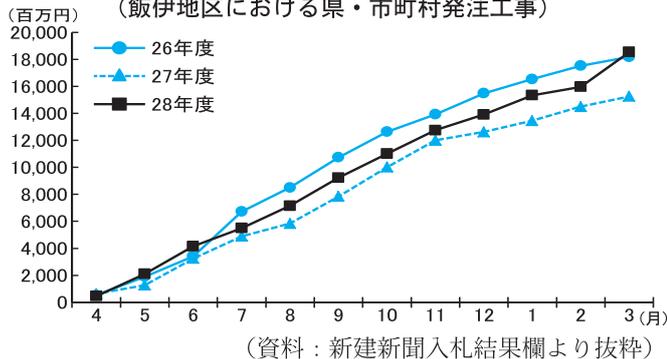
## 集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



# 建設業

## 入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新設新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -13.3 (先月 -6.3)

翌月予測DI -6.3 (先月 6.3)

## 官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約25.8億円で、前月比は317%増加、前年比も238%増加している(4月15日調査時点。電設工事、他地域業者落札分などを含む)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、「地元の公共予算はほぼ前年並み。次年度の受注契約があり、受注残は増加」などやや増加との声も複数あるが、やや減少～横ばいとの声が多い。「受発注は低調。年度の工事がほぼ終了し、工事残高は激減」「1月以降の受注が少なく。未成工事量は各社ともに少ないようだ」「地域差はあるが業界の受注環境は厳しい。公共工事も少なく、リニア関連もまだまだ。災害、オリンピックなどで当地域に予算が来ないように思う」「工事が平準化したのか、例年より工事が集中せず、忙しくなかった」などの声が寄せられた。

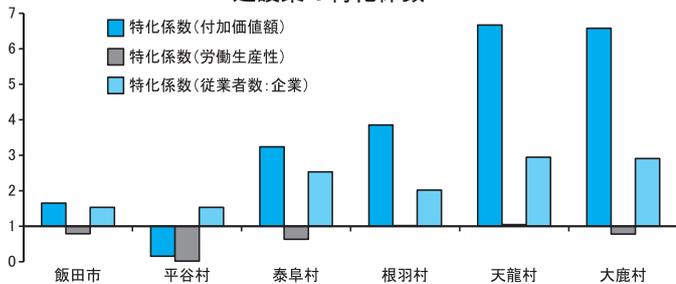
先行きに関しては「新年度受注見込みあり」「新年度の明るさが見えてきた」といった声の一方、「新年度も6月くらいまでは厳しい状況が続くのでは」との声も。

年度末を迎え完工高は前月より増加した業者が多いが、前年比は減少との声が多くなく、「関連会社でも手持工事量が少ないので、工事の完成が早い」などの声。

雇用面では「施工職募集中」「複数名増加。求人を続ける」などの声も一部にあるが、総じて積極的な声は多くない。

「当地区では大型工事専門の企業と、市町村単位での営業企業に分かれていると思うが、当社所在地の場合、受注単価の上昇もあって、小さな工事でも成り立つ比較的恵まれた状況にある」との声が寄せられた。

## 建設業の特化係数



(資料：リーサス(平成24年経済センサス))

グラフは、リーサス(地域経済分析システム)によって当地域の幾つかの市町村について建設業の特化係数を抽出したものである。特化係数とは、付加価値額、労働生産性、従業者数について、ある地域内の産業がどれだけ特化しているかを全国=1として示す指標で、これ

を見ると、村部でも平谷村などの例外はあるが、天龍村や大鹿村など建設業が主力産業となっている様子が窺える。また、根羽村や天龍村では労働生産性(従業員一人当たり付加価値額)が全国よりやや高い。

## 民需

当地区の2月の住宅着工戸数は42戸。前月比25%減少、前年比も2%減少している。

当月の調査先業者の受注残高の前月比は、一部にやや減少との声も聞かれたが、概ね横ばい。「新築受注なし。リフォームのみ」「民間の大型工事もない」「民間受注が多い会社は盛況」などの声が寄せられた。

雇用面で「増員予定。今後も増員を考えていく」「不足。だが補充できない」など不足感を指摘する声も複数聞かれ、こうした中には景況感が好転した業者も見受けられた。

## 建設資材

塗料等建設資材の売上は、前月比概ね横ばい、景況感の好転には至らないものの「全般的には活発な動きになってきた。しかし先行きは不透明。民間の需要増加に期待している」との声が聞かれた。

鋼材の売上は、前月比やや増加も、前年比減少、「前月比では若干のプラスも、依然動きが悪く前年比ではマイナス。景気回復の流れは見えない」との声が寄せられた。「建設建築系は依然低調。輸出絡みで製造業などでは忙しくなっている。とはいえ鋼材を使う業種はなかなか向上かない」という。鋼材価格に関し、「メーカー値上げの中で、動きの悪さから流通筋が値を上げられない状況が続いていたが、4月くらいから価格転嫁を図るべく値上げの動きが出ている」との声が寄せられた。

生コンの売上は、前月比、前年比とも業者によって増減分かれる。「先月より出荷が減った。年度末で地元業者の手持が終了。国交省関連の工事のみになり出荷量が低迷しそう」「前年比微増で、予想通りの低調な結果。主な出荷は砂防、護岸、河川工事など公共土木で、厳しい。来月以降も低調な出荷が予想される。本格的な出荷はまだ先だが、リニア関連工事の出荷が少量あった」などの声が寄せられた。一部に設備面で積極的な声も。

骨材等の売上は、前月比増加、前年比は概ね横ばい。「先月よりは良かった。昨年並み」「当社としてはまあまあ動き。業界全体ではあまり良くなかった感もある」などの声が寄せられた。「三遠南信自動車道では期待できる需要がある反面、公共物件の通常の発注にはあまり期待できないのではないかとの声が多いように感じる。建設業の4月以降の手持はあまりないのではないか」などの声。一部に雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

### 【企業からのコメント】

- ★年度末で手持ち工事が終了し、依然景気が良いとは思えない。
- ★今後に向け在庫を多く持ちたいと思っている。
- ★燃料が上昇。

### 住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

3月 ○下伊那地方事務所

新築 11件 (前年 7件)

増築 4件 (前年 5件)

○飯田市役所分

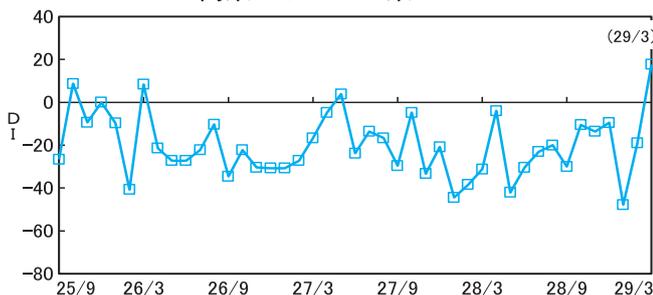
新築 21件 (前年 18件)

増築 0件 (前年 3件)

※指定確認検査機関分を含む

# 商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI 17.6 (先月 -19.0)

翌月予測DI 5.6 (先月 -4.8)

## 商業

食品の売上の前月比は、やや増加との声が多く、一部に景況感が好転した業者も見られた。前年比はやや減少との声も。仕入価格がやや上昇している。これに対し、販売価格は横ばいとする業者が多いが、一部に価格転嫁を図っている様子も見られる。雇用面、設備面で積極的な声は聞かれなかった。

### 【青果卸売市場】

売上は前月比やや増加も、これは「季節的なもの」という。

野菜は、「野菜の価格は前年の高値から一転平年並み。中でも果菜類の胡瓜、トマト、ピーマンは先月に続き安め。不作気味のキャベツ、ネギは2～3割高。全体では、前年に比べ入荷量7%増、価格は7%安で、ほぼ前年並みの売上」という。

果実は、「気温が低いせいかわ温州みかんの人気が高く、八朔、清美オレンジも好調な販売だったが、人気のある地場産ふじは不作により大幅な減。苺も昨年高値だったこともありやや安値で、全体では入荷量9%増、価格は16%安」との声。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感の好転には至っていない。先行きは弱含みという。

家事用品卸の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声が寄せられた。「暖かい日が多く、防寒用品は売れ残りがあった」「紙類で、大手が1割以上の値上げを発表。まだ実感はないが、紙類は動く様子がある」などの声。

家電の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。増加したとする業者からは「LED照明を中心に売上は伸びた。工場の制御機器の納入が好調を維持している製造業もある。充電価格が低下した太陽光発電も、いくつか案件が出てきて今後期待」との声が聞かれた。

衣料品の売上は、前月比、前年比ともやや増加も、「業界は依然厳しい」など景況感の好転には至らないとの声も寄せられた。

娯楽用品では、「春休み商戦の中、重点新製品の発売もあり、前月比、前年比ともにやや増加」との声が聞かれた。

土産物関連の売上は、前月比やや増加。「通行量の減少などで地区内の観光業は厳しい」とする業者でも景況感の悪化には至っておらず、一部に好転した業者も見られた。仕入価格上昇との声も。一部に増員した業者も見られた。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比65%増加、前年比も1%増加。中古車は、前月比63%増加も、前年比は4%減少した。2月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比20%増加も、前年比は9%減少。中古車も、前月比26%増加も、前年比は3%減少した。

自動車販売、整備の売上は、「3月は一年のピークの月。新車は前年とほぼ同数だったが、中古車が伸びた。整備も良く、昨年より良かった」など前月比、前

年比とも増加、景況感も好転との声も寄せられた。「少子高齢化、若者のクルマ離れもあって、新卒需要の高まりは感じにくくなったが、課税前ということもあって保有車両の代替え需要があり動きは活発」だった一方、「買取台数の増加もあって、価格は下降傾向」という。「車の販売は相場が激変するが、高買いの在庫があると厳しい。地域の規模に見合った在庫と、顧客の要望にフレキシブルに対応することが車の販売方法として適しているように思うのだが」との声も寄せられた。

## サービス業

「送迎会が月末に少し集中したくらいで全体的には静か。肌寒い日が続いたからかもしれない」「前年比クリアは良かった」などの声も寄せられた市内料理店の売上の前年比は、やや減少～概ね横ばい。「お客様が集中する傾向があり、土、日に限ってはお断りをしなくてはならない場合も。そんな状況で多少の売上減は心配していないが、同業や取引先との話の中でも景況は悪いという話が多い」「先々の不安があるのか、消費が悪い、安い方に走る。景況は変わらずあまり良くないと思う」など、景況感が好転との声は聞かれなかった。先行きに関し、「4月の予約は順調」「市議会議員選挙がある。選挙の月は良くない」などの声。

市内ホテル、旅館の売上は、前年比減少との声。雇用面で不足感があるという。設備面で積極的な声も。

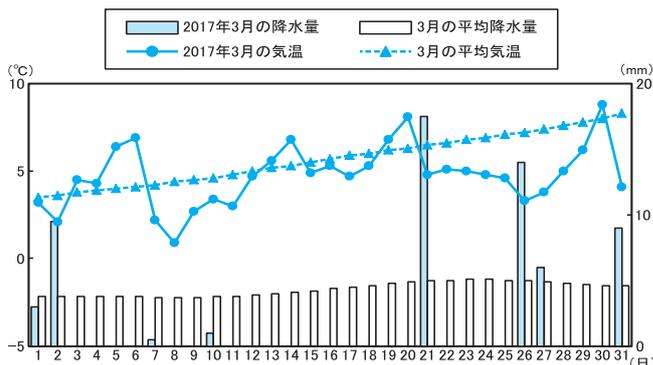
屋神温泉の売上は、前月比増加、景況感好転との声も聞かれた。「マッピングには様々な声があるが、4月のマッピングの終了と共に予約が減少するなど、依然ナイトツアーのイベントに集客が左右されている」「日帰り客が減少している一方、女性4、5人の卒業旅行のグループが目につく。若い人は土産物をあまり買わない。同業でも特色ある企画を打っている施設はそれなりに集客しているように思えるが、こうしたところに目を付けて当社の規模に応じて地道にやっていきたい」「次月は星、花に期待しているが、今でさえ従業員一人にかかる時間の負担が大きく、人手不足になりそう。手配しているが、人材は既に行き先が決まっていることが多い」「間際になっての予約が多い」などの声も寄せられた。

タクシーの売上は、前月比増加も、前年比やや減少、「他産業では上向きというが、今月も夜間需要は厳しく、回復の流れが感じられない」との声も寄せられた。「労働者の平均年齢が上がる中、勤務体系を工夫して無駄な拘束時間を省くなど働きやすい環境をつくるのが重要」「行政との調整も必要だが、福祉タクシー事業が実際のタクシー売上につながるサービスなど、タクシー事業の公共性が維持できるような仕組みを考えなければならぬ」等の声も聞かれた。

### 【企業からのコメント】

- ★あるリースの場合、市役所の入札業者は飯田市に本社を置く会社に限定された。地域で還流するための知恵も地域活性化にはより必要になってきていると思う。
- ★家電品は低迷が続き、廃業する店舗も出ている。

飯田の気温と降水量



## 地域経済にも影響する事業承継！

飯田信用金庫 経営相談所

中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

かつて「今度、我が社の後を継ぐ長男の〇〇です。よろしく申し上げます」と先代が関係先に後継者を紹介をして事業承継がスタートしたものでした。「後継者を誰にするか?」「財産をどうするか?」余り悩まずに事が運び、当事者も周りも、事業を継ぐとはそういうものだ、誰しものが当たり前になっていた時代でした。戦後の民法改正により家族・家督制度が廃止されたとはいうものの、世襲の感覚がまだまだ慣習として残っていました。

それに比べて現在の事業承継は、後継者選びや、それに伴う財産分与、税制といった法的分野にも跨って複雑化しており、最終的に上手くいかず廃業に追い込まれるケースが出てきています。

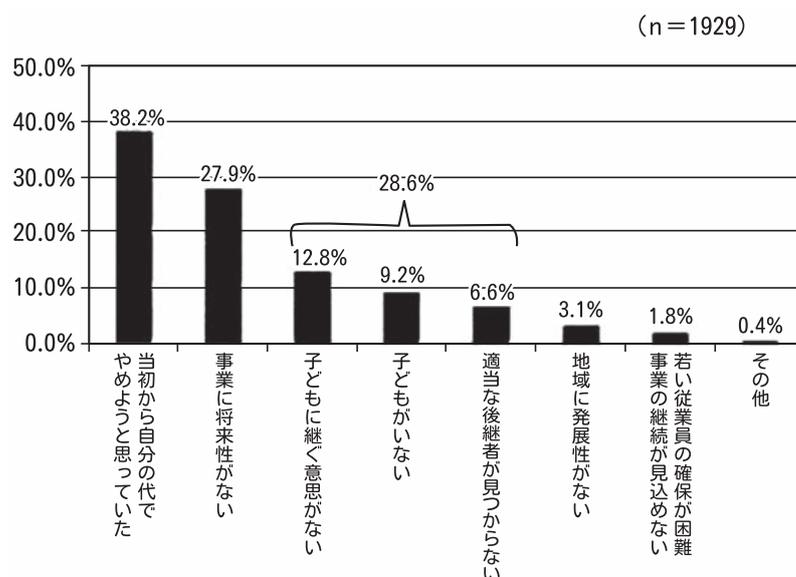
図-1では、廃業予定企業の廃業理由を聞いたものです。一番目の廃業理由は「当初から自分の代でやめようと思っていた」で、38.2%が回答しています。この数字はたいへん驚きであり、時代と共に経営者の考え方も変わってきている事がうかがえます。

さて、2番目の廃業理由が「後継者がいないから」で、28.6%を占めています。後継者がいないと回答した理由の背景には、「子供に継ぐ意思がない」「子供や孫がいない」「子供や孫がいても他の職についている」「声を掛けても断りがあった」「従業員の中に後継者に推す人材がいない」「人材がいても断りがあった」等、様々な理由があります。親族内で承継できれば治まりが良いと思いますが、自分と違って子供や孫には高い目標をもってもらいたいと願う経営者は多く、上記の実態にも大きく関係しているのではないかと思います。

また、中小企業を取り巻く環境は、国際化の進展や経済の先行き不透明感から、承継するに当たって現経営者、後継者候補双方が「実際、経営能力を発揮できるのか?」不安に感じていることも大きな理由の一つではないかと推測できます。

図-2は、都道府県別経営者の平均年齢の推移です。この25年間で、長野県は、全国平均と同じく5歳以上上昇しています。また、図-3の都道府県別開廃業率の開業率では、各県の地域間格差が大きく最大2倍以上の格差があり、さらに長野県は3.3と45番目に開業が少ない状況です。廃業率は全国的にはバラツキが小さく開業率が廃業率を下回っている県が8県ありますが、その中に長野県も入っており、このままでは将来が危ぶまれます。

図-1 廃業予定企業の廃業理由



(日本政策金融公庫：「中小企業の事業承継に関するインターネット調査2016」)

図-2 都道府県別経営者の平均年齢  =平均年齢が5歳以上上昇

	1990年	2015年	対90年		1990年	2015年	対90年
北海道	54.3	59.7	5.4	滋賀県	54.3	57.8	3.5
青森県	53.9	60.5	6.6	京都府	54.4	58.8	4.4
岩手県	54.8	61.3	6.5	大阪府	54.5	58.3	3.8
宮城県	53.9	59.7	5.8	兵庫県	54.5	58.7	4.2
秋田県	53.8	60.9	7.1	奈良県	54.2	58.7	4.5
山形県	55.5	60.6	5.1	和歌山県	54.5	59.2	4.7
福島県	54.1	59.5	5.4	鳥取県	54.4	59.7	5.3
茨城県	53.3	59.7	6.4	島根県	55.1	60.7	5.6
栃木県	53.0	59.6	6.6	岡山県	53.9	58.6	4.7
群馬県	53.4	59.4	6.0	広島県	53.9	59.1	5.2
埼玉県	53.0	59.2	6.2	山口県	54.8	59.3	4.5
千葉県	52.9	59.6	6.7	徳島県	53.1	59.8	6.7
東京都	54.3	58.9	4.6	香川県	54.7	59.2	4.5
神奈川県	53.5	59.9	6.4	愛媛県	53.8	58.7	4.9
新潟県	54.6	60.1	5.5	高知県	54.1	60.5	6.4
富山県	55.0	59.6	4.6	福岡県	53.5	58.5	5.0
石川県	54.2	58.6	4.4	佐賀県	54.6	59.5	4.9
福井県	53.5	59.2	5.7	長崎県	54.0	60.0	6.0
山梨県	53.1	59.7	6.6	熊本県	52.7	59.1	6.4
長野県	54.5	59.9	5.4	大分県	53.7	58.8	5.1
岐阜県	54.6	58.9	4.3	宮崎県	53.0	59.0	6.0
静岡県	54.3	59.7	5.4	鹿児島県	53.6	59.6	6.0
愛知県	54.2	58.3	4.1	沖縄県	51.5	58.2	6.7
三重県	53.9	58.0	4.1	全体	54.0	59.2	5.2

(出典：帝国データバンク「特別企画：2016年全国社長分析」(2016))

図-3 都道府県別の開廃業率  =開業率が廃業率を下回る

開業率		廃業率 (%)	
沖縄県	7.1	鳥取県	4.3
宮城県	6.9	栃木県	4.2
千葉県	5.6	岡山県	4.1
福島県	5.3	岐阜県	4.1
福岡県	5.2	静岡県	4.0
埼玉県	5.1	群馬県	4.0
愛知県	5.1	山梨県	4.0
宮崎県	5.1	石川県	4.0
三重県	5.0	高知県	3.9
岩手県	4.9	滋賀県	3.9
熊本県	4.9	香川県	3.9
奈良県	4.8	福井県	3.8
大阪府	4.8	山形県	3.8
茨城県	4.7	愛媛県	3.7
神奈川県	4.7	和歌山県	3.7
鹿児島県	4.7	広島県	3.7
東京都	4.6	秋田県	3.5
兵庫県	4.5	富山県	3.5
佐賀県	4.5	青森県	3.4
北海道	4.5	島根県	3.3
山口県	4.5	長崎県	3.3
長崎県	4.5	徳島県	3.2
大分県	4.4	新潟県	3.1
京都府	4.4	全国計	4.6
		鳥取県	4.6
		山梨県	4.5
		北海道	4.5
		大分県	4.4
		愛知県	4.2
		山形県	4.2
		高知県	4.1
		岡山県	4.1
		大阪府	4.1
		三重県	4.0
		宮城県	4.0
		宮崎県	4.0
		沖縄県	4.0
		徳島県	4.0
		東京都	4.0
		岐阜県	4.0
		福井県	3.9
		石川県	3.9
		山口県	3.9
		長崎県	3.9
		滋賀県	3.9
		奈良県	3.8
		静岡県	3.8
		佐賀県	3.8
		熊本県	3.8
		鹿児島県	3.8
		長野県	3.7
		群馬県	3.7
		青森県	3.7
		広島県	3.6
		兵庫県	3.6
		新潟県	3.6
		香川県	3.6
		愛媛県	3.6
		福井県	3.5
		鳥取県	3.5
		岩手県	3.5
		和歌山県	3.4
		富山県	3.4
		福島県	3.3
		千葉県	3.3
		埼玉県	3.3
		神奈川県	3.3
		秋田県	3.2
		茨城県	3.0
		全国計	3.8

(出典：校正労働省「雇用保険事業年報」(2012))

後継者が無く廃業する企業の雇用喪失も全国で20万人から35万人(中小企業白書)と推定され、事業承継は事業主の問題に止まらず地域経済にも影響を与える重要な課題でもあります。

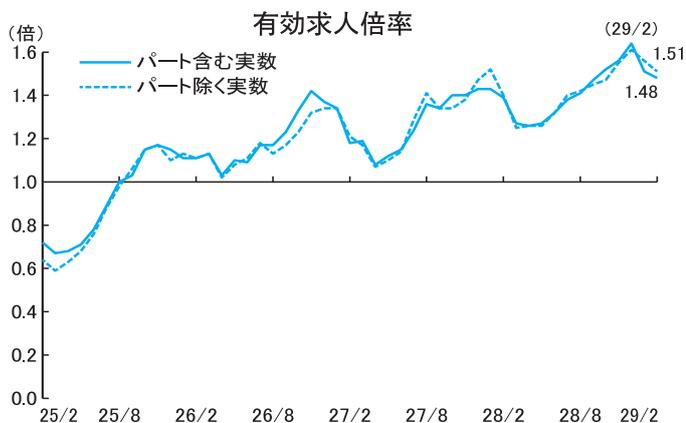
地域での貴重な買い物の場である小売店が廃業してしまえば、買い物困難者が増え、地域の利便性が低下し地域の衰退が加速します。

製造業が衰退すれば、雇用が失われ、会社の技術やノウハウも失われ、取引先も他の会社へ取引を乗り換え経済活力の低下に繋がります。

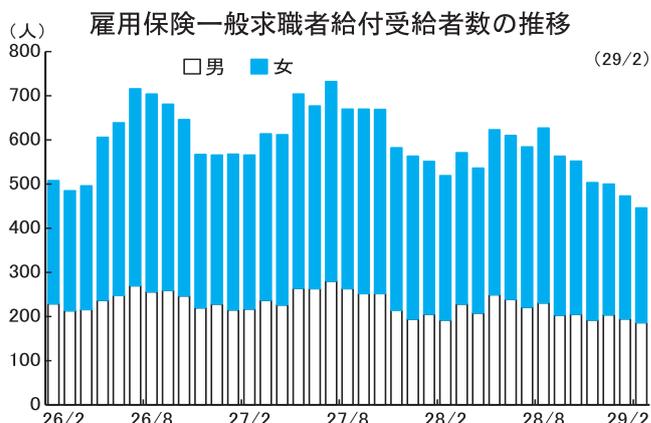
飯田・下伊那地域も、高度成長期に経営者となり日本経済を担ってきた経営者が、事業承継を迎える時代に入りました。事業承継を機に廃業する事の無い様スムーズに承継する事がこの地域の経済の安定と発展に繋がると思います。

開設5年目を迎えた「長野県事業引継支援センター」では、企業の合併や買収(M&A)の相談や実践、また、既存企業を別の者に引き継ぐ「長野県後継者バンク事業(廃業と創業のマッチング)」を実施しています。事業をスムーズに引き継ぐためにも、地域経済が衰退しないためにも、一人で悩まずに信金の支店や経営相談所へ相談してみてください。

## 雇用の状況



2月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.48倍と、前月から0.03ポイント下降。パートを除く実数も1.51倍で、前月から0.05ポイント下降している。



2月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は9人減少、女性も18人減少しており、全体では446人と前月から27人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

# 主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成23年	557	△ 5.3	322,932	△ 3.5	186,915	△ 1.6	118,624	△ 20.1
24	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
平成28.1	37	△ 11.9	25,395	△ 6.2	16,384	1.6	8,756	△ 1.1
2	43	16.2	22,895	2.6	15,101	1.6	8,620	1.4
3	51	264.3	30,309	0.8	18,941	3.8	10,456	△ 2.7
4	37	△ 28.8	25,220	3.8	14,959	△ 0.4	9,956	△ 11.3
5	45	0.0	28,250	△ 2.8	16,930	△ 3.5	10,360	△ 27.6
6	64	39.1	22,591	△ 5.5	14,856	1.1	9,900	△ 5.0
7	58	9.4	26,517	4.2	17,613	9.2	9,975	△ 0.2
8	70	4.5	36,140	△ 5.2	22,181	5.5	10,273	△ 5.4
9	78	30.0	26,977	△ 4.0	17,418	0.3	9,385	△ 3.0
10	51	21.4	28,049	2.5	18,676	5.5	10,272	△ 5.2
11	50	△ 13.8	25,575	△ 2.4	17,622	0.3	9,285	△ 6.7
12	50	6.4	28,239	1.9	18,090	6.3	8,605	△ 3.2
平成29.1	56	51.4	26,478	4.3	17,070	4.2	8,568	△ 2.1
2	42	△ 2.3	22,454	△ 1.9	16,616	10.0	8,629	0.1
3	—	—	29,945	△ 1.2	19,682	3.9	10,190	△ 2.5
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成23年	24,943	△ 17.1	6,983	△ 1.4	0.72	—
24	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
平成28.1	2,199	3.8	436	2.8	1.31	1.70
2	2,333	△ 12.1	573	0.4	1.31	1.35
3	3,968	△ 7.1	922	3.9	1.32	1.47
4	1,991	△ 4.1	700	△ 8.6	1.37	1.43
5	2,105	7.5	586	△ 8.2	1.40	1.43
6	2,485	△ 9.1	770	6.5	1.40	1.39
7	2,080	△ 19.7	568	△ 23.7	1.41	1.33
8	1,697	△ 9.4	551	△ 1.4	1.43	1.37
9	2,565	△ 14.5	597	△ 4.3	1.46	1.33
10	2,172	△ 6.4	634	△ 6.4	1.49	1.35
11	2,074	△ 6.8	538	△ 7.2	1.51	1.40
12	2,082	△ 9.6	558	△ 10.9	1.57	1.53
平成29.1	2,012	△ 8.5	387	△ 11.2	1.49	1.80
2	2,441	4.6	542	△ 5.4	1.51	—
3	4,018	1.3	884	△ 4.1	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成23年	72,078	92,170,690	155	13	2,132	8.9
24	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
平成28.1	3,670	4,132,486	7	0	112	△ 14.5
2	4,527	5,291,046	9	1	161	△ 5.3
3	4,247	4,903,346	10	1	277	△ 2.1
4	3,360	3,588,321	7	1	132	9.1
5	4,493	5,008,672	5	0	138	8.7
6	3,934	4,815,045	6	2	158	△ 9.2
7	3,334	3,496,772	9	0	182	△ 5.2
8	4,456	5,177,038	8	1	149	△ 8.0
9	3,791	4,807,264	6	0	176	△ 17.8
10	3,779	3,762,544	7	1	147	△ 13.0
11	3,720	3,727,391	9	0	166	16.1
12	3,973	4,701,810	5	1	206	△ 12.0
平成29.1	3,950	5,080,674	6	2	116	3.6
2	3,713	5,233,036	4	1	159	△ 1.2
3	4,109	5,024,211	8	2	266	△ 4.0
資料出所	飯田手形交換所		下伊那地方事務所商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成23年	2,917,737	△ 2.4	1,851,218	△ 0.7	372,191	△ 4.8	950,485	1.3
24	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
平成28.1	207,069	△ 0.5	126,156	△ 2.9	30,469	5.1	71,319	4.6
2	196,086	2.8	122,344	△ 1.0	29,832	11.7	69,690	11.2
3	236,486	1.1	146,710	△ 0.5	30,044	4.9	81,780	3.4
4	219,698	0.4	138,538	△ 2.6	38,704	9.0	84,158	△ 1.7
5	233,685	△ 6.0	149,561	△ 6.3	34,673	△ 25.7	88,828	△ 8.0
6	220,412	0.5	145,235	1.2	19,467	△ 24.6	74,196	△ 4.6
7	237,316	0.8	155,742	3.2	28,941	△ 18.9	87,501	0.1
8	257,508	△ 0.3	168,515	1.3	40,992	△ 18.5	112,045	1.0
9	229,323	△ 5.8	158,198	△ 2.2	28,382	△ 36.8	83,848	△ 14.5
10	247,170	△ 4.1	172,088	0.3	37,037	△ 26.3	97,816	△ 7.6
11	242,056	0.3	180,920	2.4	32,774	△ 5.8	94,113	△ 2.5
12	228,660	1.5	155,405	5.0	24,577	△ 11.1	77,284	△ 2.2
平成29.1	205,978	△ 0.5	130,174	3.2	27,023	△ 11.3	68,660	△ 3.7
2	191,670	△ 2.3	123,792	1.2	25,369	△ 15.0	64,582	△ 7.3
3	235,070	△ 0.6	149,971	2.2	27,553	△ 8.3	80,561	△ 1.5
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							